

2021年12月期決算説明会 質疑応答

(回答者：西森社長)

Q：P.32の高収益化戦略について。過去の状況では海外ITが赤字になることもあり、このQ4も赤字とみられる。海外でのビジネスで拡大するよりも貴社の強いバランスシートを活かし、国内でM&Aなどによる成長を目指す方が良いように見えるが、考えを聞かせてほしい。特にインドについては、売却・撤退も視野に入るのか？

A：国内ITの受注環境が好調であること、また、実際に当社グループの中核となっている技術は中核企業であるシーエーシーの中にあるので、国内ITを中心に伸ばさせたほうが戦略としては良いと考えている。したがって、投資案件については基本的に国内市場のDX対応のために使っていきたい。インド子会社は構造改革に取り組んでいるが結果がまだ出しておらず道半ばのため、引き続き取り組んでいきたい。様々な可能性を検討する中で、売却というのも選択肢の一つとは思う。

以上